

LPガスCP情報(2017年6月積み)

1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **385** 円/ト (前月比± 0 円)

ブタン **390** 円/ト (前月比± 0 円)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が乱高下するなか、LPガス需要はピークを過ぎ需給緩和感が強まり市況は軟化した。米モンベルビュースポット価格が高値のため米国玉のキャンセルが相次ぐなかサウジが石化プラント不調でLPGをスポット販売、ナフサとの価格差縮小で石化需要も限られ日本、韓国、中国の引き合い弱い。CP先物は第3週に原油高とトレーダーの買いで反騰したが、第4週は需給緩和感が強く反落。極東CFR市況は第4週末でプロパン400円、ブタン410円どころへ軟化した。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB)は、全米プロパン在庫が増加に転じたものの、高水準の輸出により堅調に推移した。原油市況の急落を受けて4日には303円まで下げたが、第4週末には345円まで戻し月間平均は332円/ト、前月比7円の下落。

ナフサは原油市況に連れ安、月間平均は447円、前月比33円の上昇。バンカーオイルも原油市況に追随し、月間平均で307円どころ、前月比6円の上昇。

6月CPは前年同月比プロパン55円、ブタン25円高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン、ブタンともに4ポイント上昇、前年同月比ではプロパン1ポイント高く、ブタン7ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	31	31	29	27	29.5
CP先物指標:P	385	380	395	385	386
CP先物指標:B	400	400	410	390	400

② 原油市況等

WTIは5月48.84円/バレルでスタート、リビア増産やドル高などで4日には年初来安値となる45.52円/バレルまで下げたが、OPEC加盟・非加盟国の協調減産延長期待と米原油在庫減少により反発、50円/バレルを挟んで推移した。一方、北米のリグ稼働数は19週連続で増加し(26日現在:908基:ガス・石油計)2015年4月の水準にまで回復し、米国の原油生産量は日量930万バレルまで増加、米原油在庫は5億1千万バレル超と高水準を維持、協調減産効果が米国の増産に減殺されるとの懸念も強い。25日にOPEC加盟・非加盟国は協調減産9ヶ月延長で合意したものの延長の規模・期間に新味がなく失望売りで急落している。

一方、NYMEXのWTI総取組高は中旬に234万枚まで増加したが、大口投機玉の買越残高は5月16日時点で33万枚とピークの2月からは22万枚減少した。23日時点では大口投機の買建玉、売建玉も手仕舞われ、買建売は60万枚、売建玉は22万枚どころで推移している。

○5月積みアラビアン・ライト(5月1~26日まで)は50.18円/バレル(前月比-2.22円)

熱量等価AL100% プロパン411.42円/ト ブタン405.78円/ト

AL比 プロパン93.58% ブタン96.11%

***上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。**

2. 2017年6月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	113.05	43,500	44,100	-1,900	-5,000
26~25日②	113.31	43,600	44,200	-1,700	-4,700
1~31日③	113.25	43,600	44,200	-1,700	-4,700

*TTS平均について、①が4月21日~5月20日、②は4月26日~5月25日、③は5月1~30日まで、①、②、③ともに6月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。なお、2017年1月から一部元売プロパン仕切のフォーミュラがモンベルビュープロパンスポット価格とCPの合成FOBに変更されています。